

超速硬モルタル 無収縮・低弾性タイプ

ジェット®モルタル PF

「床版上面における断面修復の性能照査項目」
東・中・西日本高速道路株式会社 編者
「構造物施工管理要領(令和2年7月)」

性能試験
完了材料

◎ 特 長

供給

専用プラント車による重量計量・水平
2軸強制ミキサによる安定した品質
を大容量供給可能。
プレミックスタイプもラインナップ

専用プレミック্সプラント車 ▶



超速硬・無収縮

打設後2時間で10N/mm²
以上の強度を発現し無収縮
性を示します。

低弾性・高靱性

繊維混入でタフネス、低弾性化
(従来品の75%)により補修箇
所への応力集中を抑制します。

ノンポリマー

防水層・仕上げ材への付着阻害因子
となるポリマー系混和剤を用いてい
ません。

◎ 用 途

- コンクリート道路橋の断面修復
- コンクリート欠損補修

抜群の
施工性



◎ 性 能

項目	温度/℃	結果	基準値
凝結時間(始発)/分	5	41	30以上
	23	45	
	35	32	
圧縮強度(2h)/N/mm ²	5	23.5	10以上
	23	27.7	
	35	28.0	
圧縮強度(4h)/N/mm ²	5	26.3	24以上
	23	31.7	
	35	33.8	
圧縮強度(28d)/N/mm ²	5	45.9	—
	23	62.4	
	35	60.0	

項目	温度/℃	結果	基準値
寸法安定性/%	23	収縮0.006	収縮0.025以下
静弾性係数/kN/mm ²	5	26.4	26.5±5
	23	29.0	
	35	28.5	
付着強度/N/mm ²	—	3.63	1.5以上
負荷後付着強度/N/mm ²	—	2.67	1.5以上
相対動弾性係数/%	—	109	60以上
ひび割れ抵抗性	—	変状なし	ひび割れ無し
熱膨張係数/×10 ⁻⁵ /℃	—	1.1	1.0±0.5
遮塩性/cm/y	—	同等	補修計画と同等以上
促進中性化/√(週)	—	同等	補修計画と同等以上

超速硬モルタル 無収縮・低弾性タイプ ジェット®モルタルPF

Jet Mortar / Protect Form



◎ プレミックスタイプ

- 無収縮・低弾性タイプ
小野田ジェットモルタルPF 20kg/袋
- ジェットセッターH 30g/袋
(専用遅延剤)



◎ 配合(例)

1袋当たり	ジェットモルタル (kg)	標準練り水量※1 (%)	ジェットセッターH (専用遅延剤)	練り上り量 (%)
	20	2.6~2.8	適宜※2	約11※3

※1 目標とするコンステンシーを得るために、事前に標準練り水量の範囲で水量を確認してください。
 ※2 ジェットセッターH(専用遅延剤)は、下表の添加例を参考に環境温度に応じた量を練り水に加えてください。
 ※3 1㎡当たりの使用量は、約91袋となります。

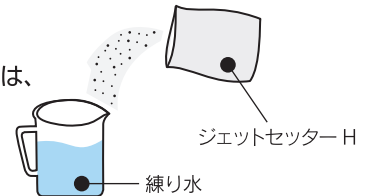
◎ 使用方法

小野田ジェットモルタルPF 1袋当たり、**2.6~2.8%**の標準練り水量の範囲でご使用下さい。

使用時の注意

- 標準練り水を超える水量で練り混ぜた場合、材料分離や強度不良の原因となります。
- ジェットセッターH(専用遅延剤)は、あらかじめ練り水に所定量を溶かしてご使用ください。
- 養生は、打設後2時間以上行って下さい。また低温下では打設後、保温養生して下さい。
- ご使用前にSDSをご確認ください。

練り水とジェットセッターHは、あらかじめ計量、混合しておいてください。



● ジェットセッターHの添加例(ハンドリングタイム30min)

環境温度	10℃ ~ 20℃	20℃ ~ 30℃
使用量(袋)	1/3	2/3

パン型ミキサを使用した練り混ぜ



◎ 付着性向上

既設コンクリートの微細なひび割れ補修、付着性向上として「プライマー」、「エポキシ系ボンド」も取り扱っております。あわせてご利用ください。

「ジェット」は、太平洋セメント(株)、住友大阪セメント(株)のセメント系材料の登録商標です。

◎ 小野田ケミコ株式会社

メンテナンスイノベーション
MI事業部

〒130-0022 東京都墨田区江東橋4-11-1 錦糸町ダイヤビル7F
 TEL: 03-5638-8564 FAX: 03-5638-8567
 URL: <https://www.chemico.co.jp/>



商品情報はここから